



発行所
長野県下伊那郡高森町
下市田 高森町公民館
発行人
大 洞 利 雄
☎35-8211
印刷所
龍共印刷株式会社



水田で待ちぶせ アオサギ再来町!!

説 論

世界の民族宗教 美しい農村景観の一環として、草地に放牧された風景をグリーン・ツーリズム構想に取り込んで、観光資源としての活用もできます。牛や馬など大型家畜を飼育することは、大ケガをする危険も伴いますが、中型放牧には注意が必要です。肉質は良好で、「ラム肉」「マトン」として流通しています。

魅力がいっぱい！ヒツジ

000種以上あるとされています。羊毛はセーターや帽子、手袋などの紡ぎ、毛皮はコートやオーバーに加工され北国の防寒着として利用されます。乳用種からは、1日2ℓ程度の搾乳ができ、ヨーグルトやチーズ作りもできます。

また、河川敷や果樹園、夏のスキー場での草刈り隊員として注目されています。

インタビュー



J Aみなみ信州高森支所金融課の窓口担当として働いています。働き始めてから今年で3年目となりますが、初年度から高森支所で

お世話になっていました。高森町出身ということもあり、お客様の中には顔見知りの方もいて、来店時には温かく接して頂いています。そんなお客様へ仕事で恩返し出来ることは多くありませんが、いつも笑顔で忘れないよう、どなたでも来店しやすい居心地の良い支所、また親しみやすい職員を目指して仕事をしています。

本島あずみ(吉田)

広島平和のバス結団式

広島平和のバス派遣団の結団式が7月18日(土)、山吹の「やすらぎ荘」で開催されました。

する心を将来に語り継ぐ事を目的に実施され、本年は第27回になります。派遣期間は8月5〜7日の2泊3日です。団員は、下市田区長で平和推進委員の下井美紀男さんを団長に、小学生18名、中学生7名、一般8名の合計33名です。

サウスタウン種

小型で肢(あし)は短いが、どっしりとしています。肉も良質で、性格はおとなしく成長も早いです。

コリデル種

毛・肉兼用種で顔・肢は白く、丈夫で飼育しやすいです。羊毛が質・量ともに優れています。

チェビオット種

体格は小型で、山岳地帯でも飼育される強い足を持っています。おとなしい性格で、放牧に向いていることから近年、注目されています。

町消防団 操法技術大会

去る6月28日(日)、高森中学校グラウンドにて、平成27年度高森町消防団操法大会が、団員多数参加の下、開催された。



点検報告！

天候は晴れ。声援も憚られる緊迫した雰囲気の中、選手たちは、より良い成績を収めようという意気込みで火点に見立てた標的を倒していった。

結団式終了後は、熊谷弘さんによる紙芝居を使った原爆に関する事前学習の他、昨年の派遣団の様子をDVD鑑賞、さらに「ひろしま平和の歌」「翼をください」2曲の歌の練習を行い、当日に備えました。

結団式



- 主な成績は以下の通り。
- 【ポンプ車操法の部】
 - 1位 本部班A
 - ※2位以下割愛
 - 【小型ポンプ操法の部】
 - 1位 一分団二班A
 - 2位 二分団四班A
 - ※3位以下割愛
- 尚、これらのチームにラッパ集団を加えた4チームは、7月12日(日)行われた飯伊消防技術大会に出場し、以下の成績を収めている。
- 【ポンプ車操法の部】
 - 5位 高森(本部A)
 - 【小型ポンプ操法の部】
 - 7位 高森B(二一四A)
 - 11位 高森A(二一四A)
 - 【ラッパ吹奏の部】
 - 2位 高森

三面鏡

夏も本番となり、暑さが収まる時間帯が待ち遠しく思います。この昼と夜がそっと交わる時間を、かつて天気予報では「宵のうち」と表現していました。それがデータとして正確に伝えることを重んじて今では使われなくなりました▼「宵」を辞書で調べてみると「日が暮れて間もない頃。夜がまだそれほど更けていない頃」と書かれています。この曖昧なひとときは、どこか心がざわめきます。最近あまり使われませんが、かつては「八時九時はまだ宵の口」という言葉を耳にしました▼ほのかに漂う光と、少しずつおさまる暑さ。街や家に明かりが灯り見慣れた風景が幻想的な情景へと表現を変えていきます。けれども、1日を終えるにはまたまた早い。短いようで意外と長い。この宵という時間を存分に愉しめるのが夏という季節です。秋が来るまでこの時間を楽しみましょう。土に触れることで毎日が健やかに過ごせる」と言われていますが、庭をいじったり、植物を植えたりのことで、ごく自然に土の中のバクテリアに触れます。バクテリアの中には人に良い働きをもたらすものがあり、その力によって脳から幸福感を与える分泌物が分泌されます。この分泌物は、気分が安定し、ワクワクしたり、血液の流れをよくするとも言われています。すみずみまできちんと血液を行き渡らせることができれば免疫力や抵抗力が強くなる。土をいじることは気づかないうちに身体によい効果をもたらしてくれるのです。この時期の雑草取りも少しやる気が出そうですね。

高森町
季節の野鳥



～シリーズ～
20
クマタカ①



上空をゆっくり飛ぶクマタカ
(写真 角屋明美)

前号紹介したトビが人里のタカだとすれば、今回紹介するクマタカは山のタカです。一般には深山のタカと思われていますが、高山の稜線近くに棲むイヌワシほど奥へ行かなくても、森が奥深くまで繋がっている山地なら、人里から1kmほど奥に入ればその姿を見ることが出来ます。しかも、多少の集落や耕作地や道路などが散在していても、棲むことを嫌がることはなさそうです。高森町の西側に広がっている山地では、大島川溪谷の不動滝周辺に広がる森林

が、クマタカに適した環境といえるでしょう。この鳥は羽を広げると150cmもある大きな体をしている上、鋭いくちばしとつめをもっている、ノウサギやリス・ムササビといった小動物やヤマドリのような大きな鳥を捕まえて食べています。また、春を過ぎて暖かくなるとがけや草むらに出てくるヘビや、冬の山で何らかの理由で死んだシカの肉を食べている例も時々報告されています。クマタカは特別なことがない限り1年中オスとメスで同じ地域（縄張り）に棲んでいて、他のクマタカが進入してくると追い出します。またこの中には子育てをするための家（巣）や見張りや休息をするための木を用意しています。

(藪の鳥)



熱弁される講師

台風11号の大雨での特急運休のため、2時間遅れで到着した林家源平さんは、これ以上待つてもらうことはできないと、すぐに高座に上がられました。「65歳以上の4人に1人は認知症」と切り出した

7月16日(木)のシニア大 学第2講座は、班活動と落語林家源平さんの講演「落語家林家源平さんの講演」を予定していました。

雨にも負けず…
シニア大 学
第2講座

源平さんは、ヘルパーとして認知症の方と接した経験をもとに、新作落語の味わいを持つお話しをされました。軽妙な語り口で「介護は十人十色」、一人一人の人生の軌跡を尊重することが大切と話されました。また「できることは自分でやる」ことが基本とはいえず、誰でもちよつとした手助けがうれしいときがあります。思いやりの心が、介護の基本であるとお話しになりました。在宅であれ施設であれ、介護者の心のゆとりを支える仕組みが大切と感じました。

ビデオを上映しながら、源平さんの到着を待ちました。シニア大學生の皆さん、満足しておかえりになったことと思います。

公民館スポーツ大会

7/5

ワンバウンドふらばーるバレー



一球入魂



優勝 牛牧分館



優勝 下市田1区分館

7月5日(日)、高森中学校体育館、町民体育館の二会場で行われました。あいにくの雨により同時開催予定の「スローピッチソフトボール」が中止となり、応援団が両体育館いっばいに集まりました。開会式は町民体育館で行われ、昨年度優勝の下市田一區、牛牧分館、準優勝の山吹中、上平分館より優勝カップ及び準優勝トロフィーが返還されました。

試合は3チームでの予選リーグで勝ち残った2チームが決勝トーナメントに進出しました。この大会は35歳以上の女性に限定されていますが上限は無く比較的年齢を問わず楽しめるユニークなスポーツです。1メートル程の三角形のビーチボールを3回以内で相手チームに返します。ワンバウンドをし忘れたり、バウンドやレシーブの際に変化するボールの動きにあたふたとする姿に、時折笑いも起こりました。

得点を決めてチームでハイトタッチをしたり、声を掛け合ったり、分館ごとで練習を重ねてきた力を結集させて熱戦が繰り広げられました。日頃は家族を支え、家事に仕事に忙しく働く女性の皆さんの真剣に戦う姿に応援の声も熱を帯びていました。

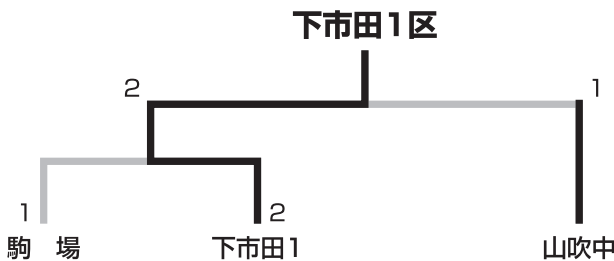
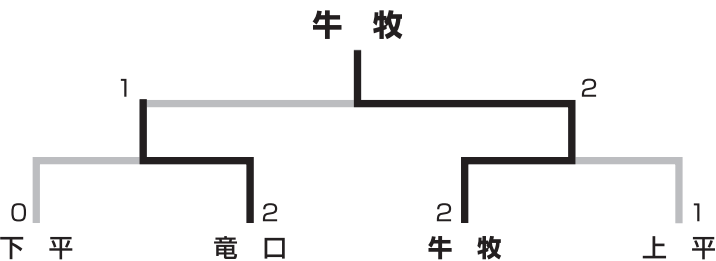
平成27年度 公民館ワンバウンドふらばーるバレー大会 試合結果

＜町民体育館ブロック＞

優勝：牛牧分館 準優勝：竜口分館 第3位：上平分館・下平分館

＜中学校体育館ブロック＞

優勝：下市田1区分館 準優勝：山吹中分館 第3位：駒場分館



■ブロック予選結果(町民体育館)

牛 牧(2-0)上市田	下 4(1-2)下 平	竜 口(2-1)吉田西	下 3(1-2)上 平
上市田(2-1)下 2	下 平(2-0)吉田東	吉田西(1-2)下 6	上 平(2-1)下 5
牛 牧(2-0)下 2	下 4(2-1)吉田東	竜 口(2-0)下 6	下 3(2-0)下 5

■ブロック予選結果(中学校体育館)

山吹中(2-0)山吹上	下 1(2-0)新 田	吉田南(0-2)駒 場
山吹上(2-1)大島山	新 田(1-2)吉田中	駒 場(2-0)出 原
山吹中(2-0)大島山	下 1(2-0)吉田中	吉田南(2-0)出 原

第7回 柿の里短歌フォーラム



入選者へ賞状が渡される

第7回柿の里短歌フォーラムが6月27日、高森町歴史民俗資料館で行われました。参加者は小・中学生の入選者や一般の方などで、席が埋まってしまいう程でした。

今年は小学生293首、中学生432首、一般61首、合計786首の昨年を上回る応募がありました。小・中学生では高森町全体の6割の子供達が応募したそうです。

入選歌の審査を行っていた宮脇先生を講師に、小・中学生の部、一般の部に分け、講評と表彰を行いました。



講師の先生より講評をいただく

「多くの人が短歌に親しみ、短歌を通して人の輪を広げ、地域文化を向上させる」目的で始まった町の文化事業ですが、来年もたくさんのお応募があれば良いと思います。

柿の里短歌フォーラム 入選歌 (小学生の部)

かえるがねいいこえだしてないてるよねむたいぼくにおやすみなさい
みずあそびびしょびしょになりおもしろいとみだちてきたあそぼうね
のびたかみ切れと言うけど父いつもふるあがりにはふいてくれる♡
五秒前カメラが回りいきをすう「キュー」のあいさでアナウンサーに
ご開帳祖父の病気おしてとびんずる様にしっかりさわる
友達に手をふり「さよなら」言うけれど本当はもっとおしゃべりしたい
波の音とフォークダンスにむなさわざ心の音を波が消してく
皮むいたオレンジ色がならんでる祖父と祖母の愛情の柿
新しい教室にみちる木のかおり森のまん中いるみたいだな
三区までつないでくれたこのタスキ最後のゴールへ届けてみせる
落花生鳥に食べられかなんだ勇気を出してまた種をまく

柿の里短歌フォーラム 入選歌 (中学生の部)

このところ料理を頑張る妹に負けじと意気込み味噌汁作る
サアサアと葉の裏見せてゆれる木々これから雨がやってくるんだ
うちの猫私が学校行く時に見送りに来て肩に手をおく
ほめないで私にすぎいとかわないで余裕が出ちゃうさういう性格
息そろえパシッと一発バトンパス四人でつなぎゴールを目指す
日に焼ける右腕の肌汗を吹き握るその手が砲丸濡らす
去り際に背中に響く君の声届かぬふりして一歩ふみ出す
トラクターの刃の土落とす祖父の足長ぐつばかり大きくみえる
水曜日稽古を終えた帰り道ふと見上げれば弓張りの月
しとしとと雨が降る日の楽しみは言葉が産み出す夢の世界へ

柿の里短歌フォーラム 一般の部 推薦歌

雨けぶる路地より鰯を焼くにはひたべ忙しき母の顫ちくる
春耕の畑にあがれる水蒸気の仄かな影の土に揺らめく
豊作の秋の花火は梨・りんご赤や黄色にまあるく上がる
手ぬぐひが明治の父の必需品 テレビ見るにも振袖巻す
好物は虎杖杉菜葛に桑ひたすらに食む子育ての山羊

まちのとしょかん

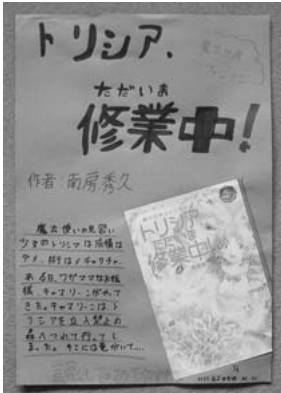
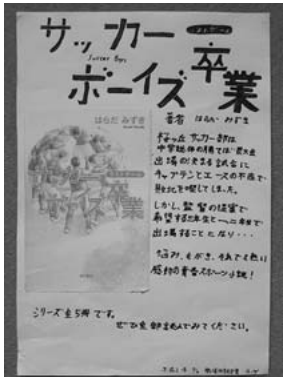
中学生のキャリア教育を応援 職場体験学習3名を受け入れ

中学2年生の職場体験学習に今年も3名を受け入れ、8から10日の3日間、図書館でのお仕事をさせていただきました。お掃除や棚整理、図書の受入や紹介、移動図書館に乗りしてもらいました。個々に製作した力の入った本の紹介ポスターを掲載させていただきます。

初日は町長室で町長から辞令を受け取ったり、教育委員会の朝礼で自己紹介をしたりして緊張したようでした。

利用者の方に元気に挨拶をし、棚整理など熱心に行ってくれました。移動図書館では町民の方々との距離も近いせいか「町民のひと話」すのに緊張した」とか、図書の受け入れや、レファレンスで羊の載った本探しの手伝いをしたりして「利用者」としてつかうのとまた違った図書館を体験できた」という感想をいただきました。

2日目からとりかかったポスターは、あらかじめ同世代の人たちにお薦めの本を各自で用意してきたものを、興味深く手に取ってもらえるよう、わかりやすく表紙を貼り付けたり紹介を加えて描きました。



信州山の日になんだ 「山をゆく歌」ブックカフェの開催

高森町を舞台とした児童文学「山をゆく歌」をもとに、町内の銘菓でお茶を飲みながら本の話をするブックカフェが山の記念日である7月24日の午後に開催されました。

あわせて上演された紙芝居は、熊谷弘さんを中心に制作グループができて修正を重ねているところで、大型化の計画をしています。より完成度をあげたいと、熊谷さんは集まった方々から感想や意見を聞いています。



窓の外には鬼面山...

社会を明るくする運動

— あいさつ運動 —

7月1日、「社会を明るくする運動」の啓発活動が町内3校にて行われました。

中学校では、7時頃から雨の中傘をさした生徒会役員などが校門前に並び、登校してきた生徒とあいさつを交わっていました。あいさつに定評のある高森中学校だけあって、雨音に負けず、握手をしたり、握手をしながら大きな声であいさつが交わされていました。南小学校では、雨のため昇降口であいさつ運動が行われました。熊谷町長と柿丸くんも参加し、6年生や下伊那地区保護司会の方々が、登校してきた児童にティッシュを手渡しながらいさつをしました。ティッシュを受け取った児童は「おはようございます」と元気よくあいさつを返し、熊谷町長や柿丸くんに気付けようという気持ちで、握手をしたり、握手をしながら大きな声であいさつが交わされていました。南小学校では、雨のため昇降口であいさつ運動が行われました。熊谷町長と柿丸くんも参加し、6年生や下伊那地区保護司会の方々が、登校してきた児童にティッシュを手渡しながらいさつをしました。ティッシュを受け取った児童は「おはようございます」と元気よくあいさつを返し、熊谷町長や柿丸くんに気付けようという気持ちで、握手をしたり、握手をしながら大きな声であいさつが交わされていました。



元気にあいさつできました

こもったあいさつを」と書かれた標語が掲げられており、普段からあいさつを心掛けていた様子が見え、朝から元気のいい声が響き渡っていました。

下市田二区

ふれあい広場夏まつり

7月18日(土)、一区積善会館において、ふれあい広場夏まつりが開かれました。台風の通過で当日午前中まで雨が降っていましたが、午後は雨もあがり、夏まつりらしい夕暮れとなりました。開会式前の呼び込み太鼓の頃には、大勢の子供達が集まり、お目当ての夜店に列をつくりました。やき鳥やイカ焼きの香りに引かれ、大人も子供もアツアツ出来立てに舌鼓を打ちました。金魚すくいでは子供達がお玉を使って挑戦。すばやく逃げまわる金魚を追いかけて熱が入りました。開会式に続いて、来春開

催予定の萩山神社「御柱祭」の木遣歌が、木遣保存会により披露されました。威勢のよい歌声が会場に響き渡り、来年の里曳きを思い、浮き立ち、待ち遠しく感じました。



お玉を使って金魚すくいに挑戦

地球温暖化防止活動 91

水と肥料はいりません

7月初旬「たんじゅん農法」の城雄二先生が私達の畑を診て回ってくださいます。環境塾のメンバー以外にも、実践している人や興味のある方が参加しました。私の畑では、菌のえさは廃菌床を入れただけなの、窒素成分が多いから、炭素比率の高い粉殻を混ぜるように。また、高森町は傾斜地なので、畝を高くすることで水はけを良くしたり、空気との接触面積を多くすること。崖下には溝を掘っておくことなど、それぞれの畑の環境も見ながらアドバイスを受けました。肥料を使うと、窒素を好むバクテリアの働きによって、

私たちは花火が配られ楽しめました。「高森ニューサウンズ」の懐メロ演奏と子供たちの「妖怪体操」の共演で、祭りも最高潮に達しました。来春の萩山神社御柱祭の木遣り隊の特別参加もあり、参加者全員で輪になって高森音頭を踊り、お楽しみ抽選会が

新婚さん今日は

今回ご紹介する新婚さんは、宮嶋英彰さん・ちひろさんご夫妻で、共に薬剤師さんです。お二人は今年の2月、札幌で結婚式を挙げられました。というのは、北海道は、ちひろさんの出身地。そして、英彰さんが大学で学んだ地。さらには、お二人が愛を育んでこられた地でもあったからです。



宮嶋 英彰 夫妻(山吹竜口)
ちひろ

高校生の時に訪れ北海道に引かれた英彰さんは、大学卒業後帯広の病院に勤務しました。一方、ちひろさんは、福島の大学を卒業後北海道に戻って、札幌の病院に勤めることになりました。お二人が働く病院は、たまたま同系列の病院であつたことから研修会で一緒になり、運命的な出会いをしたわけです。「とても可愛いし、それだけでなく芯の

ある女性だな」、「落ち着いた雰囲気を持ちながら、明るく社交的な男性だな」。お互いの第一印象を、このように語ってくれました。病院勤務は若い二人にとって、研しみなながら、お互いの愛を確かめ合ってきました。出合いの時から遠く離れていることが多かったお二人には、距離の問題は大して障害にはならなかったようです。むしろ、お二人を固く深く結びつけたのかも知れません。初めてのデートに英彰さんが1時間遅れてきたこと、お二人でよく旅行に出掛けたこと、英彰さんの得意な料理で素敵なクリスマスを通して、穏やかな表情で、顔を見合わせながらお話しされるお二人からは、いつまでもお聞きしたい、いほどの、たくさんの物語を紡いでこられた様子が伺えました。信州の蕎麦や果物が大好きというちひろさんですが、もともとこの町のよさを感じ取っていた、お二人が望んでおられる、笑顔が絶えない明るいご家庭を築いてくださることを願わずにはいられません。どうぞお幸せに。

下市田二区

納涼祭

7月11日(土)、「第25回ふれあい広場 納涼祭」が下二区会館広場にて行われました。例年梅雨の半ばに行われるため、突然の雨に見舞われることの多い納涼祭でしたが、今年は晴天のお祭り日和に恵まれました。

分館長の開会のことばの後、後打上げ花火があがり、自治会長、高森町長の挨拶に続いて、華やかな「紅華」の皆さんによる和太鼓の演奏で祭りは一気に盛り上がり、

そばの会」の皆さんによる出店や屋台には長蛇の列ができ、家族や近所が集まって楽しむ姿が見られました。ステージでは可愛い「プチエンジェル」の皆さんによるダンスが観客の笑顔を誘い、盛大な拍手が送られました。「明星会」のお母さんとお子さんによる歌と踊りはほほえましく、ステージ下で見守るお父さんお祖父さんお祖母さんの手拍子で元気いっぱい踊ることができました。参加した子供



元気いっぱい「妖怪体操」